

エネルギー使用量削減の目的・目標実施手順書 (P446-284-1a)	運用管理責任者
	資源エネルギー部会長

目的	本手順書は、繊維学部キャンパスのエネルギー使用量削減の推進を目的に設定された以下の環境目的の達成を目的とする。
環境目的目標及び実施計画の策定	環境管理マニュアル M433 に従い、資源エネルギー部会長が原案を作成し、環境委員会で審議し、サイトトップにより承認される。
環境目的目標及び実施計画の見直し	定期見直しは毎年 6 月。この他に変化する周囲の状況に対応して、臨時見直しも行う。環境管理マニュアル M433 に従い、資源エネルギー部会長が原案を作成し、環境委員会で審議し、サイトトップにより承認される。

環境目的 2	エネルギー使用量を CO2 排出量換算（原単位：建物床面積当たりの排出量）で平成 20 21 年度実績の 1.5%削減する	
環境目標	平成 21 年度	エネルギー使用量を CO2 排出量換算で平成 20 年度実績の 0.5%削減する
	平成 22 年度	エネルギー使用量を CO2 排出量換算（原単位：建物床面積当たりの排出量）で平成 20 21 年度実績の 1.0%削減する
	平成 23 年度	エネルギー使用量を CO2 排出量換算（原単位：建物床面積当たりの排出量）で平成 20 21 年度実績の 1.5%削減する
手段	システム（重油）を廃止する建物を増やす。 (1) エネルギー使用量を電力とガスメーターにより測定し記録するユニット（あるいは建物）の数を増やす。その第一候補として、遺伝子施設、SVBL, 信州 TLO, 紡糸棟総合研究棟等があげられる。(2) 繊維学部電力デマンド計の記録を活用する。(3) ユニットごとに定期的にエネルギー使用状況を巡視するシステムを導入する。	
適用範囲	繊維学部全体	
月次実施計画	エネルギー使用量削減の目的・目標実施計画書(E433-2)に記載	
手順の教育訓練の必要性	該当する教育訓練はなし	
供給者等へ手順・要求事項の伝達	なし	
監視・測定	監視測定実務担当者	資源エネルギー部会長
	環境記録	年度目標進捗状況記録(学部全体)D433-2a、(ユニット)D433-D2b
	関連する環境記録	エネルギー使用量削減の運用管理記録(D451-9)。未達の場合はD433-2aのメモ欄に原因を記入し、対策を検討する。
	環境委員会報告	四半期ごとに環境委員会へ進捗状況を D433-2a で報告
	監視・測定の頻度	1ヶ月(毎月確認)
	監視・測定機器の校正	該当せず
是正	不適合是正基準	不適合が 3 ヶ月連続で発生
	不適合予防処置基準	12 月までの累積値で年度目標(3 月までの累積)未達成の可能性がある場合(年度目標を達成するように 12 月に強力是正)
	関連する環境記録	エネルギー使用量削減の運用管理記録(D451-9)
	関連する手順書	エネルギー使用量削減の運用管理要領(P446-9)
	環境委員会報告	四半期ごとに環境委員会へ進捗状況を D433-2a で報告
	監視・測定の頻度	1ヶ月(毎月確認)

信州大学繊維学部 ISO14001:2004	要領・手順書 P446-28	最終改訂日 2008.06.28
---------------------------	-------------------	---------------------

監視・測定機器の校正	該当せず
------------	------

環境管理マニュアル関連箇所 M433

本手順書の制定・改定手順	資源エネルギー部会長が管理係長と協議のうえ、本手順書原案を作成し、環境管理責任者が審査のうえ、承認する。本手順書は、ISO 事務局からサイトトップ、環境委員会、部会長、実行統括責任者、実行ユニット責任者へ配布される
--------------	---

改定履歴

年月日	制定・改定の内容	改定理由	承認	作成	保管
2006.11.24	制定		阿部	谷上	宮原
2007.12.27	改訂	サーベイランス審査の指摘を受けて改定	阿部	谷上	宮原
2009.06.15	改訂	新目的目標にあわせて改訂	村上	谷上	竹内
2009.06.28	改訂	6 月期の資源エネルギー部会への内部監査において、「手段」の不備が指摘されたため。	村上	谷上	竹内
2010.8.06	改訂	環境目的・目標を変更したため。	村上	谷上	山田